令和６年度　第１回名張市子ども権利委員会会議録

Ⅰ．開催日時：令和６年８月２０日（火）１５時００分～１６時３０分
Ⅱ．場　　所：名張市役所２階庁議室
Ⅲ．出 席 者：子ども権利委員会　委員長、副委員長、委員５名
事務局：福祉子ども部保育・家庭担当部長、子ども家庭室長、
子ども家庭室係長、子ども相談員、室員２名
Ⅳ．内　　容：
１．あいさつ
２．議事
（１）令和５年度子ども条例関連事業進捗状況報告
（２）令和５年度ばりっ子すくすく計画(第５次)の推進状況について
（３）ばりっ子すくすく計画の見直しのためのアンケート調査結果
（４）ばりっ子すくすく計画（第６次）の素案について
（５）その他

【質疑・意見交換】(委：委員長　○：委員　⇒：事務局)

（１）令和５年度子ども条例関連事業進捗状況報告

【事務局より説明】　*省略*

委：　緑が丘の住宅地から蔵持の里に下りていく通学路について、ばりっ子会議で市に提言をしているが、こどもたちが本当に困っているのであれば頑張って改善してあげてほしい。せっかく意見を出したけど、大人はやっぱり何もしてくれないとならないように。百合が丘小学校のレンガのところも、できるだけ早く対応していただけたらと思いますので、よろしくお願いします。大人もあなたたちの意見聞いてるよ、こんなんやってるよ、だからまた意見言ってねみたいな感じになっていけばいいかなと思います。

⇒：　教育委員会も通学路の見直しの点検は行っているはずなので、今いただいたご意見も参考に確認させていただきます。

○：　通学路の変更などをお願いすることや働きかけることは、そこを使ってる子どもたちにとって嬉しいことだろうし、安全な道に直してもらえるのであれば誰もが嬉しいことだけ思います。ばりっ子がせっかく一生懸命考えて提言をしたことに対して、何でと思う子どもが出てきたらどうなるのかなと思うことがあります。提言の内容についてはばりっ子会議以外の子どもの意見も聞いたほうがいいので

は思うことがあります。

（2）令和５年度ばりっ子すくすく計画(第５次)の推進状況について

【事務局より説明】　*省略*

委：　外国籍の子どもへの支援について、名張の小学校は多言語表記はないが、伊賀市の方に行くと１５年くらい前から多言語で色んなことが書いてあり、その辺のことも伊賀全体で考えてもらって進めてもらいたいですね。

ばりっ子と言っても日本の子とは限らないし、これから国際的な部分が出てくるというのを考えれば、表記の方も併せて考えていってほしい。外国の子だったら子どもの権利はない、というのは絶対ありえないので。子どものうちから色んな国の子たちと交流があるようになっていけばいいかなと思います。

○：　ヤングケアラーについてですが、知られたくないというかなりデリケートなところが多く、なかなか直に民生委員にも情報がおりてこない状況があります。そのため民生委員によってどこまでフォローできのるかというところがあります。

民生委員は高齢者、主任児童委員は児童のことを主に担当するということだったのですが、今はこども真ん中社会で民生委員・児童委員だから児童も見ましょうと最近は言われています。高齢者の情報は市からおりてきますが、児童の情報はなかなかおりてこず、どの地区でどの子どもが通ってることすら知らされていないのが現状です。

本当に困難を抱える子どもを救おうと思ったら地区と小学校が密になっていけばいいなと思っています。当然、その担当地区の人にその情報をおろすことが難しいこともわかりますが、せめてその地区の会長さんとかにはおろして、主任児童員さんと一緒に連携して動けるような体制が組めたらいいなと思っています。

⇒：　地域で、そういったお子さんを見守っていただく目というのは、多い方がいいと思っている反面、どうしても言わないで欲しいという個人情報の絡みで難しい部分があります。児童虐待など情報交換しないといけない児童でしたらできますが、そうでない部分についてはどうしても同意が必要となります。我々も地域に声をかけたら色々助けてくれる人がいるんだよ、というような声掛けをするような形で進めていければと思います。

○：　中高生と赤ちゃんのふれあい体験について、実施が夏休みのとある１日しかなくて、部活などもあって申し込みづらいです。参加する子は多少はいるのですが、これからの進路を考える高校生の方が多いと聞いてます。

去年から名張社協さんが、介護施設や保育所で、中学生や高校生を対象に職業体験を実施するようになり、申込の日にちも幅があり参加しやすいものになって

いると思いました。申込方法もＱＲコードで。ふれあい体験メインなのか、職業体験メインなのかで違いますが、やってることは保育所の体験で一緒なので、その辺をうまいこと融合させられないかな思いました。

○：　ばりっ子ピカピカ小１プロジェクトについて、幼稚園・保育所から小１への小学校への接続が滑らかになるようにと書いてあります。私の住む校区で、学校のプールの着替えが男女一緒でお子さんがすごく嫌がっている、という相談を受けました。プールの着替えを男女別に行うということについて、今は幼稚園・保育所でも子どもたちの性教育は大事と言われており、プライベートゾーンなどを教えて着替えを別にしている。しかし小学校になって、男女一緒に着替えをするというのは雑で、私はすごく残念です。着替えを別々の教室でするというのは校長の裁量という返答がほとんどです。幼稚園・保育所からの教えていることの連続性が守られていないと感じます。

○：　そもそもこのばりっこピカ１プロジェクトというのが、小学校での学習スタイルになれるためのもので、チャイムがなったら座るといったルールの部分での連携を主にしていると思います。プールの着替えをどうしてるかということまでは連携できてないのが現実です。

委：　子どもたちの意見と言う事でお話いただけたらと思います。

○：　幼稚園・保育所と小学校の連携が大事と言ってる割には、なかなか細かいところまではできない現状があると感じているところですが、その連携の中に学童保育も昔から中に入れて欲しいという要望を出しています。連携を取れるかは校長判断になりますが、すごく連携のとれている学童の小学校もあれば、なかなかとれない学童もあります。グレーゾーンの子どもたちの様子など、共有できれば保育・教育しやすくなるでしょうから、是非ともそういうところは連携ができるようになってほしいと思います。

（３）ばりっ子すくすく計画の見直しのためのアンケート調査結果

【事務局より説明】　*省略＊

○：　子ども条例について出前授業は１校のみで、他の小学校はまだ一切行ってないですよね。

⇒：　何とか増やしていきたいということで校長会等で説明させてもらっています。

委：　母子手帳に子どもの権利のことを載せてほしいと前から言ってますがどうなっ

ていますか。

⇒：　母子部局に相談した結果、、赤ちゃん訪問でタブレットを使用するようなので、タブレットで子ども条例のことを載せてもらえるように取組みをしているところです。

委：　ぜひともよろしくお願いします。生まれた赤ちゃんにもちゃんとした人権があるということを知ってもらうために啓発していただけたらと思います。自分たちの子どもも権利を持ってるという意識が少しでも芽生えてくれたらいいかなと思います。

○：　地域との連携を図るというところで、放課後子ども教室の話がありました。私も昨年から関わらせていただいており、その放課後子ども教室に関わってる子どもたちが準備の段階から生き生きと協力、参加されてる様子を見てすごくいいと思いましたので、地域の行事に参加する機会を何とか増やせたらいいなって思いました。

（4）ばりっ子すくすく計画（第６次）の素案について

【事務局より説明】　*省略＊

○：　ばりっ子すくすく計画の第６次の素案について、計画の趣旨のところに家庭の教育力低下、地域のつながりの希薄化について書かれていますが、最近の名張市を見ていると、放課後子ども教室の活動などかなり活性化されてるということがあり、また本市が誇る地域力ということも書いてあるので、一概に地域のつながりで希薄化の方向に進んでいってるとは実感としてない。また家庭での教育力低下とひとくくりにしてしまっているが、何をもって低下というのかと思います。基本的にはしつけのこと、塾に通わせる経済力のこと、価値感は多様ですのでひとくくりに低下と言っていいのかなと思います。

⇒：　家庭での教育力の低下という言い回しについては検討させていただきます。地域のつながりの希薄化の部分は、国の子どもを取り巻く環境について書いてあり、国ではこうだが本市では～、というような表現で修正します。

委：　地域の子どもの居場所づくりについてぜひともＯＧ、ＯＢの方々を含めたさくら教室に通ってる人たちにも意見を聞きながら進めていただけたらと思います。学校に行きたくないという気持ちも尊重して居場所づくりについて聞いてもらったらいいかなと思います。

（5）その他

⇒：　東海地区子ども条例ネットワーク総会について。今回その団体から今年はぜひ名張市でということでお声をかけていただいたので、名張市で開催させていただくこととなりました。開催日は１２月中、会場は総合福祉センターふれあいを予定しております。委員の皆様には決定次第ご案内させていただきますので、ぜひご参加いただけたらというふうに思っております。

委：　東海地区でということで、名張市さん頑張らないといけないですね。では第1回の子ども権利委員会終わりたいと思います。ありがとうございました。